

# 令和5年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大谷小学校】

⑥ 次年度への課題と改善策	
知識・技能	
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

① 目標・策	
目標	策
知識・技能	R4年度全国学力・学習状況調査の自校結果より、国語・算数の「知識・技能」において1pt向上させる。 ⇒ 書き込み式ドリルやドリルパーク、スタディサプリを活用し、一人ひとりの課題に合った内容に繰り返し取り組む。一人1台端末を活用した児童主体の「さいたま市『アクティブラーニング』型授業」を行う。
思考・判断・表現	R4年度全国学力・学習状況調査の自校結果より、国語・算数の「思考・判断・表現」において1pt向上させる。 ⇒ 一人1台端末を活用し、思考を可視化し、互いに考えを伝え合うことで、比較・検討する協同的な学びの場を設定する。特にミライードを活用し、児童の作品・レポートを相互評価したり、考えを共有したりすることによって、思考力・判断力・表現力を高めていく。
主体的に学習に取り組む態度	さいたま市学習状況調査【学びに向かう力等】における「国語の学習は好きですか。」「算数の学習は好きですか。」の肯定的な回答の割合を令和4年度より1pt以上向上させる。 ⇒ 魅力ある授業を行うことによって、児童の「わかった・できた・楽しい」を引き出す。魅力ある導入をし、児童とともに必要感のある課題を設定し、解決の見通しをもたせ、自力解決する場を設定する。また、授業中に必ず振り返りの時間を設定する。

⑤ 目標・策の達成状況		評価(※)
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等	
思考・判断・表現		
主体的に学習に取り組む態度		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

② 全国学力・学習状況調査結果・分析	
知識・技能	①児童生徒による振り返り ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

④ さいたま市学習状況調査結果・分析			
小3		小4	
小5		小6	

③ 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)	
目標	策
知識・技能	⇒
思考・判断・表現	⇒
主体的に学習に取り組む態度	⇒